

広報 かわぐち

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場総務課
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)



いつまでも健康で!!
(10/8町敬老会 サン・ローラ川口)

参加者は400名。お互いの長寿を祝し、
町文化芸術協議会の皆さんによる、歌や
踊りを楽しみました。

降雪前の「し尿のくみ取り」は早目に

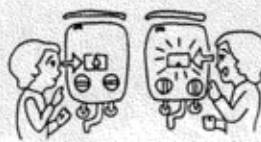
「し尿のくみ取り」は、降雪前になると一時的に集中します。状況によっては、依頼されてもすぐ対応できないことも予想されますので、早目にくみ取りするようお願いします。

暖房の恋しい季節 ガスの使用は正しく安全に

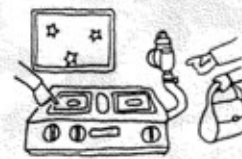
11月はガス安全使用強調月間!!

重点事項

点火・消火は目で確かめて ゴム管にひびわれはないか



お出かけ、おやすみの時はガス栓をしめる習慣を



炎はいつもきれいな青色で



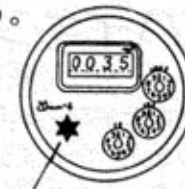
水道メーターの検針は冬期間休みます

冬期間は降雪のため水道メーターの検針ができませんので水道料金は、過去の使用水量で算定し、雪消え後の検針により過不足の精算をさせていただきます。

なお、冬期間は水道管が雪の重みや凍結などで破損し、漏水事故が多発します。

水道管の修理や漏水の水道料はみなさんの負担となり、春先の精算時に多額の水道料を払うこととなりますので、冬囲いや凍結防止を十分行いましょう。

漏水の見分け方



蛇口を全部閉めてもこの風車がまわっていれば、漏水があります。

職業訓練展
日時：11月8・9日
午前10時～午後4時迄
(9日は午後3時迄)
会場：堀之内町・県立魚沼高等学校
等職業訓練校体育館
展示即売：金属製品、木工製品、繊維製品など
内容：・訓練生実習作品の展示及び即売・職業訓練関係資料の展示・技能検定関係資料及び作品の展示・職業訓練及び技能検定の相談。
※詳細は訓練校へ
(☎02579(4)2410)

六日町高校 定期演奏会

期日 11月9日(日)
開場PM1:00～
開演PM2:00～
会場 大和町コミュニティホール「さわらび」

プログラム
〔第1部〕
イギリス民謡組曲他
〔第2部〕
映画音楽特集
〔第3部〕
バッカスの行列他

問い合わせ
同校吹奏楽部
(代表・藤岡)
☎0257-72-3224

人口	6,556人	昭和61年11月1日現在
男	3,225人	
女	3,331人	
世帯数	1,515戸	

おもしろ内容	サン・ローラ川口が華やかにオープン..... 2	町制30周年事業..... 7
	川口の子どもたちはすばらしい..... 4	シートベルトをつけないと違反..... 9
	町政功労者を表彰..... 5	スポーツコーナー..... 10
	農業振興祭..... 6	お知らせコーナー..... 12

サン・ローラ川口が華やかにオープン

家族旅行村

家族滞在型旅行村の中核へ

県内唯一の新潟建設労働者研修福祉センター、サン・ローラ川口が十月六日、ついに落成しました。



昨年十一月に着工して、三億五千万円をかけてつくられた「サン・ローラ川口」は、労働省の計画によって雇用促進事業団、新潟県、川口町が主体となって建設していったものです。

この日の招待者は一四〇名で、労働省、新潟県、国会議員、県議会議員、町議会議員、新潟県建設業協会などの関係者です。式典に先立って午前十一時から労働大臣、雇用促進事業団理事長、県知事、青柳町長、新潟県建設業協会会長の手によりテープカットが行われ、「サン・ローラ川口」の開館式をしました。



テープカットの後、三階の大会議室において式典が行われ、雇用促進事業団理事長の式辞、労働大臣、県知事、川口町長が各々、挨拶を述べました。

新潟建設労働者研修福祉センターは全国で十九番目の施設で、主に建設労働者の研修、保養が目的ですが、一般の利用者も自由に使える施設です。

特に、中山高原の眺めのよい所に位置し、眺望絶佳。魚野川、信濃川の流れる箱庭のように見渡せます。目を転ずれば魚沼三山が一望できるといふ素晴らしい場所に「サン・ローラ川口」はあります。

町運動公園の利用者及び、川口スキー場利用者に待ち望まれた「サン・ローラ川口」は今後、「家族旅行村」の計画の核として、家族滞在型旅行村への大きな夢をふくらませることが出来ます。

町関係者に 七回おひろめ

十月六日にメインの落成式をひと通り終えた「サン・ローラ川口」では、町関係者を招待しておひろめが行われました。町民の方々からも建物の素晴らしさや「サン・ローラ川口」からの眺めの素晴らしさが口々にささやかれ、今後のこの施設に期待する声を多く聞かれました。



敬老会も サン・ローラで

開館したばかりの「新潟建設労働者研修福祉センター」で十月八日、町敬老会が行われました。この日招待されたお年寄りは七十五歳以上。



真新しい施設で青柳町長からお祝いの言葉が贈られました。この日、表彰された米寿の方々は十五名、金婚のお祝いを受けた方々は十三組でした。

サン・ローラの 利用について

新潟建設労働者研修福祉センターでは、建設労働者のもとより、広般に皆様方に高度の研修、会議、保養、宿泊、結婚式など多目的に利用していただけるようお待ちしております。

建設業関係者のご利用については、宿泊の場合1割、研修室使用料は2割の割引の特典があります。

利用料金その他についてのご相談、あるいは予約については、下記にご連絡ください。

〒949-75
新潟県北魚沼郡川口町大字
中山2515番地4

狛江市視察団が初めての宿泊

十月十五日、東京都狛江市の視察団一行が当町を訪問、当町の担当者と「都市と農村交流」や当町の実状などについて意見交換をしました。

この視察団は三十五名で、町運動公園を見学し、新しくできた「サン・ローラ川口」に初めての客として宿泊しました。

一行は青年会議所やスポーツ団体など多彩な顔ぶれでしたが、熱心に川口をくまなく視察して翌日帰途に着きました。



町政功労者に 三氏を表彰

町では、町政振興に寄与した者、町の行政に積極的に協力した方々を町政功労者として表彰しています。

今年、酒巻製作所代表取締役酒巻岩雄氏、佐藤靖邦医師、古田島慎勇氏の三氏に決まりました。

表彰式は十一月三日、役場議場において行われます。

株式会社酒巻製作所

代表取締役

酒巻 岩雄氏



新潟建設労働者研修福祉センターの落成を記念し、多額の寄附をされ、町福祉行政の充実に貢献されました。

加えて、貴社は、日本一の「精密機械メーカー」として、町産業経済の振興、雇用の安定拡大にも大きく貢献されています。

国民健康保険運営協議会委員、小・中学校医として十五年以上務められ、町民の健康保持及び増進に貢献されました。

佐藤 靖邦氏



川口町商工会の理事、会長として二十一年間、商工協同組合の理事、理事長として十九年間務められ、商工業、経済の振興に貢献されました。

古田島 慎勇氏



川口の子どもたちは すばらしい

青柳町長は、町議会九月定例会の最終日に、児童生徒のいじめ問題に関する一般質問に答える形で、当町の子供達の現在像について、次のように述べられた。

当町の小・中学校のいじめや非行の問題については、数年前から発生しておりますが、それは、新聞やテレビで報道されているようなものでなく、ごく初歩的なものばかりでありましたが、今年の九月現在では、小・中学校ともいささかも発生しておらず、大変喜んでおるところであります。

いじめとか、非行とか言葉は違いますが、それは、私どもの学生の頃からあったわけでありませぬ。

勉強がいやで学校を「サボ」ったり、また、下級生に対して上級生が指導をする。それが勢い余ってつい手を出してしまったり、そうした例は沢山あるわけでありませぬ。即ち、一定の時期になりますと人間は、どうしても「ストレス」がたまる。いわゆる不安や緊張感が高まってきたと、これを発散させないと「疲労」がたまり、「不安」感が高まり、

それが「怒り」に爆発して「非行」とか「いじめ」、「登校拒否」という形に表われてくるものと思えます。

いじめとか、非行、登校拒否については、二つの問題点があると思えます。一つは行政面から、もう一つは教育面からであります。

私も、児童生徒の教育の場と共にこれらのストレス解消を図るため、学校教育施設の整備をはじめ各種の施設整備を行っておりますが、町がいま大きく進めております運動公園を中心としたスポーツとロマンのファミリー高原の開発もその目的の一つであります。今年度は、運輸省主管に係る野外学習の場やクロスカントリーコースを造っておりますのも、「自然と人間とのふれあい」から「人間と人間とのふれあい」に移行するような自然学習の場として青少年の健全育成に結びつくよう考えてのことです。

また、どの学校区にまいりまして「この町は君が住む町創る町」のテーマ塔が掲げられておりますが、この町はみんなで、町ぐるみで、大

人も子供も一緒になって「つくろ」んだということでありませぬ。そうした中で子供達は、冬のスキー大会から夏まつり、町民運動会と立派に役割を果たしております。



特に「伝承行事」でありませぬ「武者行列」及び「あおり

太鼓」のすべてを中学生と小学生の諸君が担当し、毎年それを下級生に引継ぎ立派に成長させていることは、素晴らしいと思えますし、非行問題でも一言注意すれば素直に聞いてくれる川口の子供達は、実

に素晴らしい」と高く評価しておるところであります。

教育面では、教育委員会を中心に学校、家庭と連携をとりあいながら、いじめ、非行問題について指導及び実践をしており、大きな成果を上げております。町もそうした「環境」をつくり、子供達の役割をこれにあてはめることが、子供達の非行防止に大きく役立っているものと私は、信じておりますし、子供達はそれに立派に答えてくれていると評価しております。



川口小学校
仲村先生
川口の植物
ツル lindou
(Lindou科)

秋を漂よわせる代表の花にLindouがあることは皆さんご存じの通りです。この花は誰もが一度は手にとってみたくなる花、家に持ち帰って飾ってみたくなる花として親しまれています。

川口にはこの仲間として他に二種類あります。

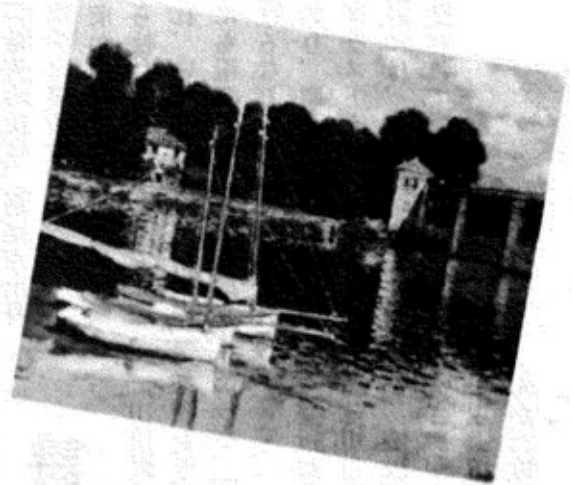
一つはセンブリです。この植物は「千振」で千回も湯の中で振り出しても苦味が残ると言うことからつけられ、健胃薬として知られております。



先日本沢の二子山に遠足に行った折に子ども達が一つだけ見つけた植物です。たった一個体しかなく他にいくら探しても見つかることができなかった。ぜひまた出合いたいものです。

いま一つは写真にあるツル lindouです。これも秋のキノコとりなどでよく出合う植物と思えます。つる性の多年草で秋には赤紫色のつやのある美しい果実の液果をつけます。日本のLindou科の植物では、このような液果をつけるただ一つのものであります。

町制30周年事業



世界の名画が一堂に展示されているフランスのルーブル美術館。NHKで放映されているルーブルの美術館シリーズでも紹介されている名画が11月中旬からサン・ローラ川口で鑑賞できることになりました。高度な技術で、絵画はもちろんのこと、額縁まで実物とまったく同じ大きさ、形で複製されているものです。6か月ごとに10点ずつ展示、2年間に40点の作品にひたることができます。

第1回展示はクロード・モネの「印象・日の出」「チューリップの畠・オランダ」を始め、マネの「笛吹きの少年」「バルコニー」などの10点です。その後は、ミレーの「落穂拾い」や「晩鐘」、セザンヌの「マルセイユ港の眺望」、ルノアールの「窓辺の少女」など粒ぞろいの名画が次々に展示されます。サン・ローラ川口に展示されておりますので、気軽にお立ち寄りください。

ルーブルの名画、わが町に！ サン・ローラ川口でルーブル美術館 名画展



▶ 錦鯉品評会
◀ 大抽選会

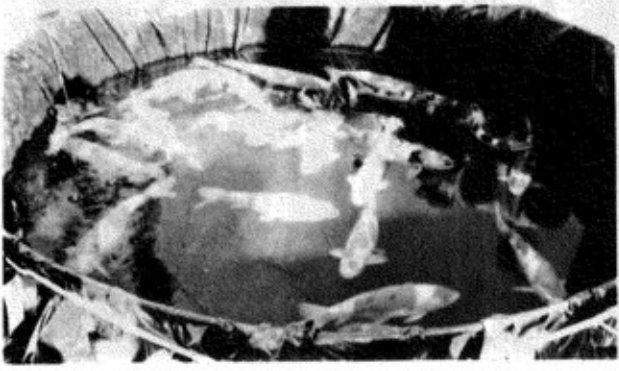


第16回 秋の稔り 豊かに 農業振興祭



十月十九日、第十六回川口町農業振興祭が開かれました。式典は十一時から農協で行われましたが、青柳町長は挨拶の中で、農業の現状と今後の農政のあり方について述べました。川口町では六年前に「地域農政移行基本構想」を発表して農業のあり方を明らかにしました。しかし、その後も時代の変化が激しく、本年度で終了する「第三期水田利用再編対策」のあと、すなわちポスト三期によって再び大きく変化すると思われます。

貿易不均衡による米の自由化も迫られている折から、農業、農家は新たな対応をする必要があります。町ではこれらのことから第二次地域農政移行基本構想を策定して、今後の農業のあり方を示す方針です。農業振興祭の式典では優秀農家の表彰などが行われ、福祉センターではにぎやかに諸行事が行われました。午後からは錦鯉品評会があり大いに盛り上りました。



アスパラガスの苗があります
町ではアスパラガスの産地化を図るため、苗代の補助を行っておりますが、まだ若干の苗が余っています。希望者は至急役場産業課または農協営農課へ申し込んで下さい。
植付本数 1アール当り 約220本

作文コンクール



川口中 綱 玲子さん

川口中学校三年の綱玲子さんが、東北電力作文コンクールで、優秀賞に選ばれました。このコンクールは、東北電力株式会社、東北七県の中学生を対象にして、次の時代を担う中学生が作文を通して自分達の郷土をみつめ直し、郷土を愛する心を高めようと昭和五十年から実施しているものです。

綱さんの作品は、新潟県の優秀賞十五編の上位に選ばれ、これから東北七県全体の中で審査されることになっていきます。作文は、「私の家と家族」をテーマにして、食堂を経営している自分の家が中学一年のときに改築され、その当時は新しい家が生活しやすくよ

11月1日から一般道路でもシートベルトをつけないと違反 助手席同乗者も

来年四月から反則金も1.5倍

道路交通法施行令の一部改正によって、従来からシートベルト着用の義務化がなされ

違反(反則)行為	反則金額 (単位千円)					
	令別表改正案			令別表現行		
	大	普	二	大	普	二
速度違反 25以上30未満	25	18	15	12		
速度違反 20以上25未満	20	15	12	10	10	8
速度違反 15以上20未満 ※断続的立入り等	15	12	9	7	10	8
速度違反 15未満 信号無視(赤色等)・通行区分違反・整備不良車両(制動装置等)等	12	9	7	6	8	6
信号無視(点滅)・通行禁止違反・一時不停止・整備不良(尾燈等)等	9	7	6	4	6	5
駐車違反	15	12	7			
駐車違反、駐車方法違反等	12	10	6		6	5
定員外乗車 路線バス等優先通行帯違反・警告音吹鳴義務違反等	7	6	4	5	4	3
交差点右左折方法違反 初心運転者標識表示義務違反等	6	4	3	4	3	2
免許証不携帯等		3				2

助手席についても非着用の場合、運転者に違反点一点がつけます。この度の改正によって昭和六十二年四月一日から、反則金が平均一・五倍に引き上げ

られます。駐車違反や駐車違反については危険性、妨害性などによって特にその抑止を図るため反則金も2倍から2・5倍に引き上げられています。なお、原付や自動二輪車を運転する時には、ヘルメットを着用しなければなりません。これは今年の七月五日から非着用の場合、すでに違反点が付けられています。自動二輪車の同乗者についても同じように運転者に対して違反点がつけられています。

ろこんだが、店も忙しく、家族とのふれ合いがなくなり孤独を感じていた。家族がそれ

美術展で奨励賞を受賞



川口七 佐藤秀治氏

日本海の沿岸十二府県で活動している作家を対象にした「公募・日本美術展」に、佐藤秀治氏(川口七、三十九歳)の絵画「最後の舞踏」が奨励賞に入賞しました。

日本美術展は、優れた作家が太平洋側に流出して地盤沈下の目立つ日本海側美術界に新風を吹き込むのが狙いで、富山県立近代美術館が主催して公募したもので、十二府県五百八十三人から県内で百一点、全体で千点余の作品が寄

に気づいてくれて、茶の間を広くしてみんなが顔を合せられるようになった体験を通して、自分の嬉しかったこと、父母に対する尊敬、家族の大切さを感じ取った気持ちをまとめています。

せられた大規模のもので、入賞は大賞一点、優秀賞二点、奨励賞五点となっています。県内の入賞は、佐藤氏のほかに奨励賞が一点と入選九点でしたが、佐藤氏は入選の中にも一点入り、美術界では高く評価されています。

佐藤秀治氏は、栃尾市出身で中学の美術教諭が本職。二年前から町教育委員会に、県から社会教育主事として派遣され、いまは社会教育活動の中にも得意の油絵教室を取り上げるなど、町民に親しまれており、町の行事案内チラシのイラストやパンフレットの表紙には、佐藤氏の作品が多く使われています。

詩吟大会で三氏が入賞



▲ パンの耳で盆栽、木沢小の文化祭

川口町吟詠会では週三回の練習会をやって会員のレベルアップ、初心者指導を行っています。夏行われた全県神風流大会では川口の小山ウメさんが、三、四段の部で五位。横田正久さんが五、六段で二位。七段以上の部で大久保美智子さんが三位に入賞しました。吟

詠会ができて十年になります。三人も入賞したのは始めてのこと。詩吟をやることによって、ストレス解消、老化防止など健康によいので、始めての方でもやってみてはいかがでしょう。

お問い合わせは八九一二五四七番・横田さん宅まで。

夕暮れ時の交通事故防止運動

これからは日が短かくなると、通勤通学時間はもう真暗になります。

ドライバーのみなさんはライトを早く点灯するようにしてください。

天候も不順となり、夕暮れ時はドライバーの目もまだ慣れていないため、歩行者がいとも近くまで行かないと気がつかない場合が多くなります。十月二十一日から十一月二十日までの一カ月間、県内一斉に「夕暮れ時の交通事故防止運動」が行われています。

川口町と交通安全協会では小・中学生に対して夜間に反射するリフレクター、反射材を配布しています。夜間の歩行には懐中電灯とか、反射材をつけるとか、白っぽい服装をするようにして交通事故にあわないようにしてください。

運動と重点

1. ライトの早期点灯
2. 高齢者の交通事故防止
3. 交通三悪の一扫
4. シートベルト・ヘルメットの着用

鉄道線路横断事故防止について

飯山線の作場道での線路横断事故が多く発生しているところから、特に沿線の方々に注意していただきたいと思ひます。



ハイキング 二題



クイズハイキング

〔東部地区館〕

同じ10月12日恒例の東部地区館主催のちょっとユニークなハイキングが行われました。

コースは福祉センター前を出発して、一番～十八番山頂～東山遊歩道(竹田展望台…昼食)の約4.5km。各18ポイントには、クイズが用意されており、その問題に答えながら進んで行くもので、頭をひねりながらのハイキング。参加者は2歳の幼児からお年寄りまで約30名。途中疲れておじいちゃんにダッコしながら歩く者、「まむし」にでくわし、見事つかまえた人もありました。

トン汁をかこんでの昼食、お母さんが作ってくれたおにぎりのおいしいこと、トン汁もみるみるうちになくなり、お腹が一杯で昼寝をする人も見うけられました。

参加者のだれもが過ぎゆく秋を満喫しました。

秋晴れの下 85名が参加

〔和南津地区館〕

去る10月12日(日)、和南津地区公民館主催の「住民ハイキング」が行われました。和南津地区公民館では今回初めての「ハイキング」で子ども達から大人まで85名が参加し、にぎやかに行われ、大成功でした。朝9時出発、秋晴れのなかコースは、初秋の林道下夕島線を小貫(小和北)から和南津地区に向けて約6.5kmを歩きました。

参加者は、トン汁をすすりながら秋の1日を過ごし「とても楽しかった、来年も実施してほしい」と親睦を深めながら、さわやかな汗を流しました。



エアロビクスで さわやが



▲ 10月30日 福祉センターにて

スポーツの町づくり

11月2日 小千谷川口駅伝

川口通過は10時～11時
中継地点は川口中学校

11月2日 西川口タスキリレー

午後2時半 川西神社スタート

11月9日 田麦山駅伝

午前9時 スタート

地区館対抗 第4回 ソフトボール

(10月5日 運動公園)

優勝 東部地区館
準優勝 中山地区館
三位 和南津地区館

第5回 町民テニス大会結果

(10月5日 運動公園テニス場)

中学生女子の部
優勝 小林綾子・中林朗子組

中学生男子の部
優勝 堀沢剛・中林亨組

一般女子の部
優勝 上村里美・佐藤文子組

西倉が連続優勝

一西川口地区大運動会一
10月12日、恒例の大運動会が川口小学校グラウンドで行われ、昨年につづいて西倉が優勝しました。

同日行われた田麦山地区大運動会は大形が優勝、小高チームも健闘しました。

第3回 町内親善野球大会

(9月27日 運動公園)

優勝 西川口少年野球
準優勝 泉水少年野球

青年海外協力隊

募集説明会

アジア・アフリカ・中近東・中南米・南太平洋地域の国々は、いま国づくりのために、いろいろな分野での若い人材を必要としています。青年海外協力隊は、このよ

四人の若者たちが参加し、現地で「JOCV」と呼ばれ親しまれています。この海外協力事業について左記により「募集説明会」を開催することになりました。当日は、活躍する協力隊員の記録映画上映と併せて、新潟県出身隊員OBも出席し、具体的な御相談もお受けすることになっておりますので、是非御参加ください。

募集説明会日程

日	時	場	所
11月13日(休)	18:00～21:00	長岡市	長岡文化会館 3階
11月8日(出)	17:30～20:30	新潟市	新潟シルバーホテル 3階
11月14日(金)	18:00～21:00	新潟市	新潟シルバーホテル 3階

〔問い合わせ先〕・新潟県総務部県民広報課外事係 ☎ 0252-85-5511(代) 〒950 新潟市新光町4番地-1 内線2117
・青年海外協力隊事務局 ☎ 03-400-7261 〒150 東京都渋谷区広尾4-2-24

ふるりの歴史散歩 ⑤

▼チョンマゲ爺さ▲

地区	氏名	屋号
西川口	星野丑蔵	仲右衛門
田麦山	桜井惣太郎	惣次郎
山之相川	大淵磯吉	稲次郎
和南津	覚張万太郎	三兵衛
川口	山田菊松	梅大工
木沢	小林伊吉	武七
峠	星野林蔵の父	木挽
牛ヶ島	丸山唯一	奥松

新しい時代を迎え、明治新政府は、様々な分野を改革した。明治四(一八七二)年八月に、散髪自由の布告が出ている。実際には散髪自由ではなく、散髪の強制であった。しかし、急激な変化に戸惑う純朴な人達は、文明開化と言う名の西欧化・近代化においてそれと乗り切れず、仕方なく、庄屋や重立達が率先してチョンマゲを切り範を示したという。それでも、当時はチョンマゲを切らなかつた人達が多くいたようである。

昭和六十一年

九月、町内の高令者を探ね歩き、「かたくなに古風にチョンマゲを結い続けた人々」を、調べたのが下の表である。

「総髪頭をたいてみれば、王制復古の音がする。ザンギリ頭をたいてみ

チョンマゲ爺さ

チョンマゲが無くなると、官員や村役人等にアゴヒゲやクチヒゲを生やす者が出てきた。そして、都会では床屋ができ、帽子が流行して時代が確実に移り変わっていった。田舎であるが、この様な世の中の中でハイカラ頭をきらい、生涯チョンマゲを結い通した前記の人達は、それぞれ相当の気骨のある人達であったようだ。

〔文化財調査審議委員 佐藤 栄〕